

目標達成計画

作成日: 平成26年11月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	26年度の消防署立会いの避難・救出訓練はこれから実施を予定している。	年2回の消防署立会いの避難・救出訓練の確実に実施する。	消防署を訪れ、担当者と日程調整、訓練内容の打ち合わせをおこなう。	2ヶ月
2	49	利用者のADLの重度化に伴い外出の希望・意向の意思表示の把握が困難となる。今後は外出の動機づけの工夫、外出に必要な体調や心身状態を安定させる工夫、家族やボランティアの協力体制が不十分である。	できるかぎりの外出の機会を設け、季節感を味わい、気分をリフレッシュしていただく。	希望・意向が外出したいという方向へ向くような声掛けの工夫を、現場レベルでミーティングをおこない検討する。	6ヶ月
3	1	平成18年の介護保険法改正で新設された地域密着型サービスの理念は「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」に改正されたので、地域との交流を意識した理念づくりがなされていない。	平成18年の介護保険法改正で新設された地域密着型サービスの理念は「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」に改正されたので、地域との交流を意識した理念づくりをおこなう。	現在の運営理念がデイ・サービスやケアプランセンターを含む介護事業部全体のものであるため、グループホーム(第1～第3)独自の運営理念づくりを各チームに提案し、検討中である。	6ヶ月
4	49	利用者のADLの重度化に伴い外出の希望・意向の意思表示の把握が困難となる。今後は外出の動機づけの工夫、外出に必要な体調や心身状態を安定させる工夫、家族やボランティアの協力体制が不十分である。	ご家族様との協力体制の構築。	行事を企画してご家族様をご案内し、その際に家族会を開催し意見交換できる場を設け、協力体制をつくっていく。	12ヶ月
5	35	年2回の消防署立会いの避難・救出訓練の確実な実施、地域住民の緊急時の協力体制の構築(特に深夜に於ける)、自主的非難・救出訓練の実施、備蓄等が必要とされる。	地域住民の緊急時の協力体制の構築(特に深夜に於ける)、自主的非難・救出訓練の実施。	地域運営推進会議にて、今回の評価結果を報告する際に出席される地域の代表者様に緊急時の協力を依頼し、地域住民を巻き込んだ自主的非難・救出訓練の実施にむけて検討する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。